

**第 6 回 地域版SDGs調査 2024**  
**SDGsの取組は福島県が初の1位。SDGs購買1位は沖縄県**  
 ～ 購買時に「SDGsを意識する」は 34%。意識しない人を下回る ～

2024 年 10 月 1 日  
 株式会社ブランド総合研究所

住民が居住している都道府県におけるSDGsへの取り組みについて、およそ3割が「取り組んでいる」と評価していますが、2割は「取り組んでいない」と否定しています。前年までと比べると「よく取り組んでいる」との回答が増え、否定的な意見が少なくなっています。

また、全国の都道府県の中で住民による評価が最も高かったのは福島県で、前年の3位から上昇して初の1位となりました。

株式会社ブランド総合研究所は、このたび都道府県ごとの住民に対し、各地でのSDGsへの取り組みや、自らのサステナブルな行動などについての実態を明らかにする「地域版SDGs調査 2024」を実施し、その結果をまとめました。

この調査は、各都道府県の住民をそれぞれ500人以上を年代、性別にほぼ均等になるように抽出し、今年8月に実施しました(総回収数25,948人、うち有効回答数23,412人)。

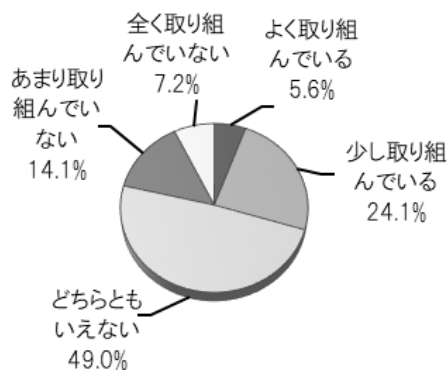
SDGsに関する理解度や、自らの購買時のSDGsへの意識、SDGs活動への取組意欲などを聞いたほか、居住している都道府県でのSDGsへの取り組みの評価、17ゴール別での評価などを明らかにしました。また、地域に本社や由来のある有力企業のサステナビリティ貢献度などについても調査を行っています。

**評価ランキング1位は福島県**

「SDGs達成のために積極的に取り組んでいる」との評価が住民から最も高いのは福島県となった。同県の評価指数は56.1点で、前年の53.5から2.6点の上昇となり、順位は前年3位からの上昇となり、初の1位となった。

同県の住民のうち31.0%が同県での「7.エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」への取組を評価しており、これは全国で最も高かつ

**Q. △△県はSDGs達成のために積極的に取り組んでいると思いますか**



**都道府県・SDGs評価ランキング** (単位:点)

順位		都道府県	SDGs評価(点)	
24年	23年		24年	23年
1	3	福島県	56.1	53.5
2	13	東京都	55.3	50.5
3	5	熊本県	55.0	53.3
4	2	長野県	54.7	53.8
5	4	鳥取県	54.0	53.4
6	18	岡山県	53.8	49.5
7	7	佐賀県	53.7	52.5
8	6	沖縄県	53.7	52.7
9	15	大分県	53.4	50.0
10	32	福岡県	53.4	48.1
11	9	福井県	53.3	51.7
12	10	岩手県	53.3	51.6
13	19	山口県	52.9	49.5
14	35	島根県	52.9	47.8
15	1	山形県	52.7	55.1
16	17	鹿児島県	52.7	49.7
17	37	長崎県	52.6	47.6
18	26	神奈川県	52.5	48.9
19	12	山梨県	52.5	50.5
20	40	青森県	52.3	47.0
47 都道府県平均			51.7	49.4

た。同様に、16.1%が「12.つくる責任、つかう責任」、16.9%が「13.気候変動に具体的な対策を」に取り組んでいると答えており、いずれも全国で最も高かった。

2位は前年13位だった東京都で、SDGs評価は55.3点で、前年の50.5点より4.8点の大幅増となった。「2.飢餓をゼロに」、「5.ジェンダー平等を実現しよう」、「17.パートナーシップで目標を達成しよう」などの評価が全国で最も高かった。

3位は熊本県。「6.安全な水とトイレを世界中に」、「9.産業と技術革新の基盤を作ろう」、「11.住み続けられるまちづくりを」への評価が高かった。

### ◆地域で取り組まれているSDGsゴール

SDGsの17ゴールの中で、各地で取り組まれていると住民が評価している人の割合が多いのは、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」で34.2%で、前年の32.6%より1.6ポイント増加している。

ゴール3「すべての人に健康と福祉を」で30.1%はコロナ禍が過ぎたことが影響し、前年より0.6ポイント減少した。

3番目に高いのはゴール14「海の豊かさを守ろう」で27.2%で、前年の26.7%より増加している。17のゴールの中でこれら3項目が他よりも高くなっている。

4番目は「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」で18.6%、そして「質の高い教育をみんなに」の17.7%。

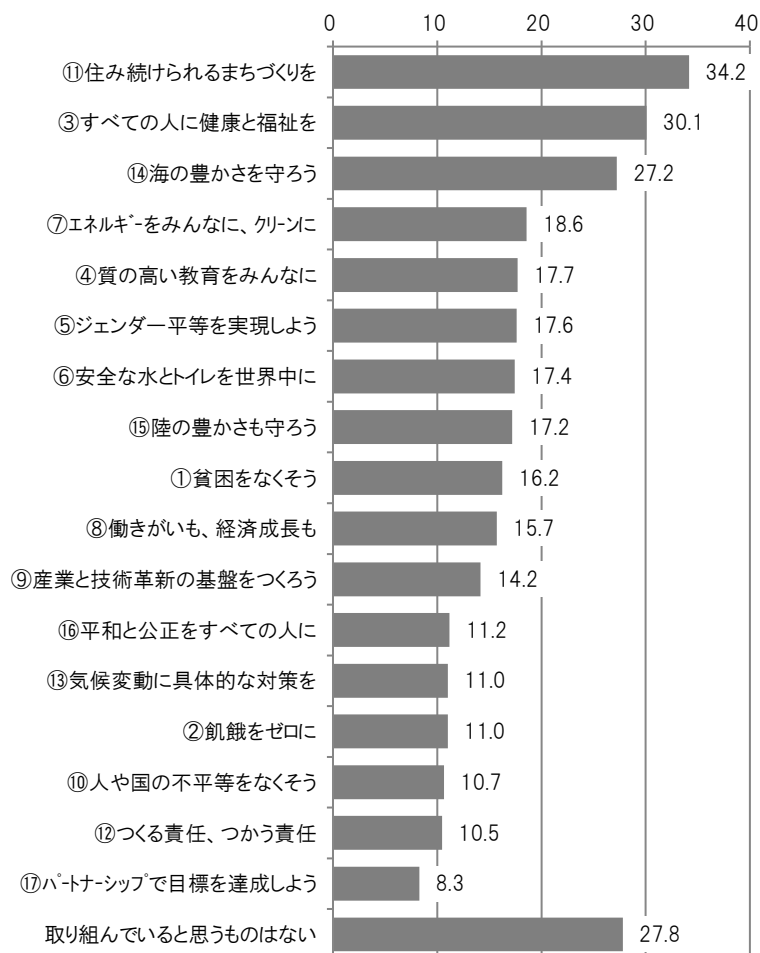
なお、17ゴールの中で最も少なかったのは「パートナーシップで目標を達成しよう」で8.3%だった。

「取り組んでいると思うものはない」との回答は25.1%で、前年の

27.8%より2.7ポイント減少している。その一方で、17ゴールのうち前年より増加したのは10項目で、残りの7項目は前年より減少しており、項目によって明暗を分けるという結果になっている。

地域で取り組まれているSDGsゴール

(%)



### ◆購買時にSDGsを意識する人は34%

「あなたは、商品やサービスを選ぶときに、SDGsを意識していますか」という設問に対し、「常に意識している」、「意識することがある」、「どちらでもない」、「あまり意識しない」、「意識したことがない」の5段階で回答してもらった結果を、「SDGs購買」として算出した。

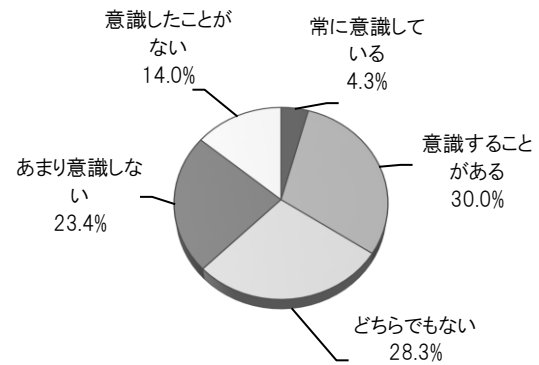
47都道府県平均では、「常に意識している」と回答したのは4.3%で、「意識することがある」は30.0%だった。およそ3人に1人がSDGsを意識していることになる。なお、「意識したことがない」は14.0%だった。

なお、SDGs 取組意欲で「積極的に取り組みたい」と回答した 2018 人のうち、「常に意識している」と回答した人は 80.9%だったのに対し、「できれば取り組みたい」と回答した 10,015 人のうち「常に意識している」と回答した人は 10.1%。取組意欲と SDGs 購買とは強い相関関係にあるのは明らかだ。

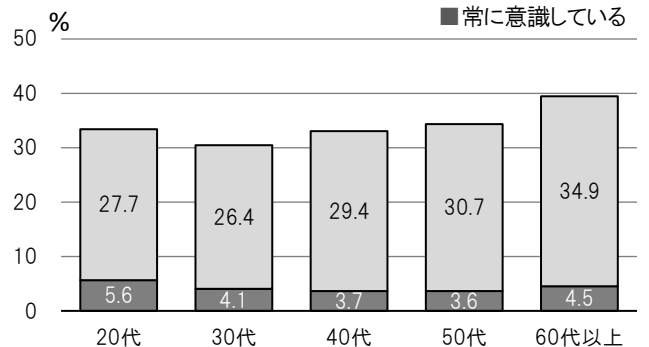
SDGs 購買度を、居住エリア別で比較すると、九州エリアが「常に意識している」および「意識することがある」の回答が最も高い結果となった。

年代別では、30 代以上は年代が高いほど SDGs 購買度も高くなる傾向にある。ただし、20 代では「常に意識している」が 5.6%と 60 代以上よりも高い。その一方で「意識することがある」との合計は 33.3%で、50 代や 60 代を下回る。また、「意識したことがない」との回答は 14.9%と少なくはない。若い世代では SDGs 購買に関しては人によって行動や考え方が大きく異なっているようだ。

### Q. あなたは商品やサービスを選ぶときに、SDGsを意識していますか



### 年代別の SDGs 購買



### ◆SDGs購買が最も高いのは沖縄県

47 都道府県別の SDGs 購買を、各都道府県に居住している人の平均を算出し、購買度の高い順に並べた。なお、この評価項目は今回新たに設けたものであり、前年までの比較データはない。

47 都道府県中で最も購買度が高かったのは沖縄県で 50.8 点。「あまり意識しない」と「意識したことがない」の合計は 30.5%と 47 都道府県の中で最も少ない。同県は他の指標も併せて、SDGs への取組については、他県と比べて積極的であることがわかる。

2 位は熊本県で 50.4 点。「常に意識している」と「意識することがある」の合計では 40.2%と都道府県の中でも唯一 40%を超えている。3 位の福井県は「意識したことがない」との回答が 8.2%と、全国で最も少なくなっている。1 位の沖縄県との購買度の差は 1 ポイントと僅差であり、2 位の熊本県のほか、4 位の福島県、5 位の島根県も含めて、上位の都道府県の結果を比較しても、あまり大きな差が生じているとは言えない。

13 位の東京都は、「常に意識している」との回答が 9.3%と、他県と比べても突出して多くなっている。その一方で、「意識したことがない」との回答も 18.1%と北海道に次いで 2 番目に多くなっている。東京都は SDGs 購買に関して推進派も多い一方で、非実行派も多いという二極分化が進んでいるようだ。

SDGs 購買度が最も低くなったのは北海道で 42.7 点。「意識したことがない」との回答が 19.4%と最も多く、「あまり意識しない」との合計では 43.1%と、こちらも全国で最も多くなっている。

### SDGs 購買度ランキング

順位	都道府県	SDGs 購買
1	沖縄県	50.8
2	熊本県	50.4
3	福井県	49.8
4	福島県	49.3
5	島根県	49.0
6	岩手県	48.8
7	宮崎県	48.6
8	鹿児島県	48.2
9	岐阜県	48.2
10	佐賀県	48.1
11	大分県	48.0
12	長野県	47.8
13	東京都	47.6
14	秋田県	47.5
15	栃木県	47.5
16	香川県	47.4
17	静岡県	47.4
18	山形県	47.3
19	宮城県	47.1
20	青森県	47.1
47 都道府県平均		46.8

## <調査概要>

地域版SDGs調査 2024 は、20 歳以上の男女を対象に、2024 年 8 月 6 日から 19 日にかけてインターネットで調査を実施し、都道府県の住民をそれぞれ 550 人前後、計 25,948 人を回収し、調査時点で移転などの理由によりその地域に居住していない人を除く計 23,412 人の有効回答を得た。

SDGs理解、各都道府県でのSDGs取組の評価、17 ゴール別評価のほか、回答者自身のSDGsへの取組意欲、SDGs購買、サステナブル行動を調べるとともに、各都道府県で活動をしている有力な地域企業を対象として、認知度や好感度、利用度、サステナビリティ貢献度などを調査した。

なお、2023 年に設けていた幸福度や生活満足度、住民の悩みや地域課題などは「幸福度調査」として分離・独立した。

- ・ 調査名 地域版SDGs調査 2024 (第 6 回)
- ・ 調査方法 インターネット調査
- ・ 調査票 47 都道府県ごとに調査票 (47 種類)を作成
- ・ 調査票には各都道府県の名称を記載して、個々に回答依頼と回収を行った
- ・ 設問数 計 10 問 (他に調査パネルに登録してある回答者属性 8 問)
- ・ 調査対象 登録している調査パネルから、居住している都道府県別に同数となるように抽出  
都道府県ごとに、年代、性別がほぼ均等となるように回収した
- ・ 総回収数 計 25,948 人 (各都道府県から 550 人前後を回収)
- ・ 有効回答数 計 23,412 人 (各都道府県平均は 498 人)  
※回答時点で各都道府県に居住していない人は無効回答とし、集計から除外  
また、回答時間が異常に短い回答、信頼性が低い回答も「無効回答」とした
- ・ 調査時期 2024 年 8 月 6 日 ~ 2024 年 8 月 19 日

## <調査報告書>

### ・報告書冊子 (価格は税込)

基本セット: 99,000 円 総合報告書+個別報告書

総合報告書: 68,200 円 A4 判 約 150 ページ(データCD別売)

個別報告書: 48,400 円 A4 判 約 30 ページ(データCD付)

オプション: 総合報告書データ CD は 22,000 円 (調査結果のデータを Excel 形式で収録)

### ・電子データパッケージ (価格は税込)

データパック47(CD): 396,000 円 47 都道府県すべてのデータを収録

個別調査パッケージ: 385,000 円~ ご指定の市について追加調査を実施

### ・報告会・セミナー (価格は税込、交通費、報告書別途)

調査結果を基にセミナーまたは研修会を実施: 165,000 円

## <ブランド総合研究所の会社概要>

「都道府県・魅力度ランキング」など地域・自治体の評価指標として全国で利用されている「地域ブランド調査」を毎年実施する地域や企業の調査およびコンサルティングを行う専門企業です。同調査以外にも、地域ブランドに関する調査やシティプロモーションなどの戦略立案を実施しています。また、英国ギネスワールドレコーズの公式パートナーとして各地でギネス世界記録への挑戦サポートも行っています。

- ・ 本社 東京都港区虎ノ門1-1-20  
虎ノ門実業会館3階(〒105-0001)
- ・ 代表者 代表取締役 田中章雄
- ・ 資本金 2500 万円
- ・ 設立 2005 年 11 月

<問合せ先(メディアおよび読者とも)>

**株式会社ブランド総合研究所**

Tel. 03-3539-3011(代) Fax.03-3539-3013

E-mail: sdgs@tiiki.jp